

動物考古学 II

科目ナンバリング ARC-216
選択 2単位

植月 学

1. 授業の概要(ねらい)

動物考古学とは遺跡から出土する動物遺体(貝殻や骨など)をもとに、過去の生活や環境を研究する学問分野です。本講義では具体的な研究事例をもとに、動物考古学の方法論や課題について解説します。

2. 授業の到達目標

- ・動物との関係という新たな視点から歴史を捉え直すことで、現代やこれからの社会について考える力を身につける。
- ・考古学的手法により、過去の生業や環境を研究する方法を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

毎回終了後に実施する小テストの合計点により評価します。授業に出席していることが受験の条件となります。提出遅延は認めません。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

毎回事前にLMSで資料を配信しますので、小テストに向けてよく予習をしておいてください。

6. その他履修上の注意事項

考古・歴史、生物の両方に関係するテーマを取り上げます。なるべく予備知識がなくても理解できるように進めますが、幅広い関心を持って臨んでください。
前期の動物考古学Iを受講しているとより理解しやすいはずですが、IIでは縄文時代など主に先史時代を扱います。

7. 授業内容

- 【第1回】 タフォノミー(オンライン)
- 【第2回】 狩猟の起源
- 【第3回】 縄文時代の骨塚
- 【第4回】 縄文時代の狩猟
- 【第5回】 縄文時代の漁労(1)霞ヶ浦の漁労文化
- 【第6回】 縄文時代の漁労(2)東京湾の漁労文化
- 【第7回】 海産物の流通 歴史時代の動物考古学
- 【第8回】 戦国時代の動物食
- 【第9回】 貝塚の考古学(1)
- 【第10回】 貝塚の考古学(2)
- 【第11回】 動物資源と定住性
- 【第12回】 狩猟採集民の定住性
- 【第13回】 縄文時代の定住性
- 【第14回】 縄文時代の生業の季節性
- 【第15回】 資源分布と生業の季節性、定住性